

「サンゴの村宣言」応援寄付金(サンゴ保全活動)に寄付



2月6日、太田区人材育成会は農業体験事業収穫祭での販売収益金を贈呈しました。

子どもたちは、「恩納村の自然環境に優しい地域づくりのため、サンゴ再生事業に活用してください」と話しました。



3月29日、琉球ガラス匠工房は第25回商工会特産品コンテスト(非食品部門)にて最優秀賞(県知事賞)を受賞したグラス「おんなブルー」の売上の一部70,000円を贈呈しました。



3月9日、おんなの駅を運営する(株)ONNAは海底貯蔵泡盛「珊瑚の海」の売上金の一部102,300円と3月30日には、(株)ONNAと関係事業者が、サンゴ再生支援コーナー売上協力金347,322円を贈呈しました。

花の種を寄贈

3月23日、山田小学校5年生より恩納村ハニーコーラルプロジェクトへ花の種の寄贈がありました。村と協働した環境学習を踏まえ、今後の環境保全に役立ててほしいという子どもたちの願いを込めた種が長浜村長へ手渡されました。



絵本の寄贈

りゅうせきライフサポート(キッズ・マネー・スクールの認定講師)より『おかねはどこからやってくる?』と題した絵本15冊の寄贈がありました。絵本は各保育所、各幼稚園、恩納村文化情報センターに配布しました。



恩納村の人材育成へ寄付

読谷協同産業株式会社(大嶺健太郎代表取締役)より、恩納村奨学基金へ10万円の寄付がありました。

読谷協同産業株式会社からは、毎年寄付をいただっており、この寄付金は村教育委員会の奨学基金として、人材育成に活用いたします。

